



*学校便り作成にあたり、生徒の文章や写真を使用する場合があります。高岡中学校個人情報取扱規程を遵守しておりますが、お気づきの点がありましたら学校までご連絡ください。

日を追うごとに涼しくなり、野外の景色も秋の装いを感じさせる今日この頃、熱中症への危機は何とか乗り越えたのですが、依然として感染症対策には予断を許さない状況が続きます。

今一度、本校の感染症対策を見直し、学校生活様式を確認しながら、安全で安心できる学校づくりを目指したいと思います。

2020年10月

高岡中「これからの学校生活」

～感染症対策を意識しよう～



- 1 マスクについて**
 - ・学校では、基本的にマスクを着用して生活すること。
 - ・人との距離を十分に確保できる時、運動している時はマスクを外してもよい。ただし、会話を控えること。
 - ・今後、学校ではマスクの販売は行わないので、必ず予備マスクをかばんに入れておくこと。なお、学校内でマスクを捨てないこと。
- 2 登校時**
 - ・登校前、検温と体調確認を行う。（体調不良の場合、登校しない）
 - ・生徒玄関前で「検温チェックカード」を提出する。
- 3 朝礼時**
 - ・「健康しらべ」による健康観察を受ける。
- 4 授業中**
 - ・隣と間隔を空けた座席で授業を受ける。（テスト形式が基本）
 - ・換気のため、廊下側の天窓は常時開けておく。
 - ・生徒同士勝手に話をしない、学習用具の貸し借りをしない。
- 5 集会**
 - ・非常時以外全校集会をせず、学年単位とする。（密集×）
 - ・体育館で行う場合、窓や出入口の扉を開ける。（密閉×）
 - ・前後左右の間隔を広く取り、接触しない。（密接×）
- 6 休み時間**
 - ・他と会話する時は間隔を空け、密接しない。
 - ・屋外との換気は、必ず行う。
 - ・水分補給は授業中行わず、休み時間とする。
- 7 昼食時**
 - ・配膳・食事前に、手洗いや手指消毒を行う。
 - ・座席を動かさず前向きで食事し、会話は慎む。
- 8 清掃時**
 - ・通常の活動を行う。
 - ・必要に応じて消毒作業をする。【ドアノブ・スイッチ・手すり等】
- 9 部活動時**
 - ・活動前後の体調確認、手洗い、必要に応じて用具の消毒を行う。
 - ・3密（密集・密閉・密接）を意識した活動を行う。
 - ・活動後には、必要に応じて消毒作業を行う。
- 10 その他**
 - ・感染者や濃厚接触者等に対する偏見や差別は許されません。
 - ・学校のゴミ箱にティッシュを捨てるため、ビニル袋を持参すること。ただし、マスクは自宅で捨てること。
 - ・熱中症対策として許可した以下の物は、必要ないので学校に持ってこないこと。【うちわ、扇子、モバイル扇風機等】



新たな学校生活様式における「マスクの取扱い」について

10月6・7日、各学年で「秋の旅行的行事」がありました。1年生は、班別でクイズラリーや目的地「県民海浜公園」での学級対抗レクリエーション。2年生は、修学旅行事前学習の班別「活動演習」。3年生は、修学旅行の代替を意識した学級別バス旅行。午前中は各学級の希望地を見学し、昼は学級別でランチを、午後は「いしかわ動物園」に合流し、本格的な受験シーズンに向かう前のひと時を楽しんだようですね。

旅の途中に、秋桜(アキオ)の爽やかな色が目に止まりましたか。白、ピンク、オレンジなど基本ですが、微妙な違いで多くの色が楽しめます。また、この季節「彼岸花(ヒガンバナ)」を見ることもできたでしょうか。別名「曼珠沙華(マンジュシャゲ)」とも言いますが、秋のお彼岸の時期に咲く真っ赤な花です。ただし毒性が強く、口にしたら文字通り「彼岸」、つまり「三途の川」の向岸に行ってしまうそうです。



ところで、1年出発式で「今年の3年生は修学旅行が中止となり、明日は代替のバス旅行が計画されています。思い出に残る『楽しい活動』になってほしいと思います。また皆さんの遠足も『全員が楽しく』なければ意味がありません。誰一人として嫌な思いをしないよう、またルールを破り先生を怒らせないよう一人一人が心掛けてください。」と挨拶しました。

その後「1年学年だより」の振り返りに「**楽しめて**良かった、班の人と**楽しく**できた、みんなで**楽しく**お弁当を食べられて」とありました。さらに「列が乱れた時は(リーダーとして)声をかけられた、時間通りに集まれた、最後まで歩いた、注意されたが失敗を繰り返さなかった、会長がしっかりまとめてくれた、集団行動をもっとできるようになりたい」などの感想もあり、行事を通して校訓「敬愛・明朗・責任・協力・自主・勤労」が実現できたようです。

前置きが長くなりましたが、今回の本題「**マスクの取扱い**」について考えます。秋になり、涼しくなったら熱中症の心配もなくなりました。そこで先日、生徒、職員と確認した「これからの学校生活～**感染症対策を意識しよう**～」を保護者や地域の皆様とも共有したく、ここに掲載しました。特にマスクの取扱いについてはいろいろな考え方もありますが、本校では感染拡大防止、いわゆるクラスターを防ぐこと、万が一校内に陽性者が無症状で紛れ込んだとしても他に感染させないことを目標に、感染症対策を考えています。というのも、本校区は金沢市内でも片町や金沢駅周辺となっており、他校より感染リスクが高いと捉えています。したがって、今年度は、申し訳ありませんが、生徒と保護者、地域の皆様ができるだけ校内で混在しないよう、その場面を設定せずにここまで来ました。例えば、運動会観戦や授業参観など、保護者と生徒が同席する場を極力避けてきました。ただし、卒業式、入学式だけは十分な対策を施して実施してもらいました。その結果なのか、今のところ感染者は出ておりません。しかし、いつ出てもおかしくない状況と捉えています。

そう言いながら、もしかしたら「感染しても大したことはない」と、感染症対策への意識が薄くなっている人もいるかもしれません。テレビなどでそんな風潮が伝わってくる場面もあり、仕方がないのかもしれませんが、そうでない人、つまり絶対に感染したくない人も当然いるわけで、感染すると死に至るリスクの高い人に見ればとっては怖いと感じているはずで、また、皆さんが大丈夫でも家族の中に抵抗力の弱い方もいらっしゃるのでは。そう考えると、やはりこのウイルスを簡単に蔓延させるわけにはいかないのでは、と考えます。

皆さんができること、それはマスクを着用すること、どこにでもマスクを捨てないこと、マスクを着けていても「咳エチケット」を守ること、こまめに手洗い・手指消毒を行うこと、ソーシャルディスタンスを保つこと、至近距離でしゃべらないこと、狭い空間で大声を出さないことなどです。これらは自分を守るためであり、周りの人々を守ることに繋がります。

今、このコロナ禍において、本校校訓「(敬愛)・(明朗)・**責任・協力・自主**・(勤労)」の中の3つが、とても重要に感じています。

校長 村上 賢正